

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	保土ヶ谷公園		
所在地	横浜市保土ヶ谷区花見台・仏向町・星川1丁目・3丁目		
サイトURL	http://www.kanagawa-park.or.jp/hodogaya/index.html		
根拠条例	神奈川県都市公園条例（昭和32年神奈川県条例第7号）		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進（昭和32年4月）		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県公園協会・株式会社サカタのタネ・サカタのタネグリーンサービス株式会社・株式会社オーチューグループ		
指定期間	H27. 4. 1 ~ R4. 3. 31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況がB評価、利用者の満足度がS評価、収支状況がS評価となったためA評価となった。公園利用については、競技者だけではなく、サポーターの増を図るオープスタジアム等、運動公園の特質を活かしたスポーツとの多面的な関わりあいの機会を提供したほか、季節毎のイベントやギャラリー等、スポーツ目的以外の利用者間の交流の機会を創出し、運動施設に偏らない公園利用の増大への取組みも見られる。</p> <p>今後は、適切な感染症防止対策を講じながら、継続していくことが望まれる。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況<ul style="list-style-type: none">・過年度から行っているオープスタジアム（競技団体の練習時の一般開放や競技団体とのふれあい教室等）は好評であり、5,933人の参加が得られたほか、カフェを併設したギャラリーを交流の場として活用を図り、2万人を超える利用者を数えた。軟式野球場等での平日利用料金の割引はシステム改修を要するため未実施であるが、改修が完了したい実施の見込みである。◆利用状況<ul style="list-style-type: none">・利用者数の目標達成率は91.9%となり、B評価となった。新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設利用休止のため利用者数が減少したことが影響している。◆利用者の満足度<ul style="list-style-type: none">・2ヵ月ごとに実施し、上位2段階の回答割合が94.3%のためS評価となったが、施設の老朽化に伴う不満も多いため、改修等に向け、県との調整を要する。◆収支状況<ul style="list-style-type: none">・有料施設の利用休止のため料金収入は減少したが、駐車場等の収入が堅調であったためプラスとなり、収支比率が107.47%となったためS評価となった。◆苦情・要望等<ul style="list-style-type: none">・駐車場係員に対する苦情が寄せられ丁寧な対応の徹底を図っているが、再発防止に努めてほしい。◆事故・不祥事等<ul style="list-style-type: none">・6/2に軟式野球場外へのボール飛び出しが発生した。ボールの規格変更による飛距離の増大に対する施設改修までのソフト対策として、金属バットの使用制限に向け、利用団体と調整を進めている。◆労働環境の確保に関する取組状況<ul style="list-style-type: none">・県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。◆その他<ul style="list-style-type: none">・障害者スポーツの普及への取組として、軟式野球場休場時に福祉団体と体験イベント（参加者数900人）を開催する等、利用の拡充に努めている。	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	適宜	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
健康づくりの促進として、楽しみながら健康づくりに取り組む機会を提供する。	4, 5, 9, 10, 11月にイベントを実施、健康増進の場としての施設利用の拡充を図った。参加人数は1,681人であった。	計画どおりの実施であり、今後も競技以外の施設活用の拡大が望まれる。
競技団体と連携し、サッカー場、硬式野球場、ラグビー場でのオープンスタジアム等、スポーツに親しむ機会の提供	12、2月を除く毎月実施。野球のマスターズ大会やサッカー場の見学等、延べ参加人数は5,933人であった。	計画どおりの実施であり、今後も多様な関わりの場の提供が望まれる。
交流機会の充実をはかるため、カフェを併設したギャラリーの展示以外の活用	ほぼ1年を通じた展示会等、嗜好に応じた交流の場の確保が図られた。延べ入場者数は、21,200人であった。	展示が主体であるため、入場者間での交流促進が図られる工夫が望まれる。
来園のきっかけづくりとして、気軽に楽しめるイベント等によるにぎわいの創出	夜間の鑑賞系イベントや樹林内でのプレーパーク等のイベントを16回行い、17,948人の参加者を得た。	計画どおり実施し、定着しつつあるイベントもあることから、継続が望まれる。
平日利用促進のための軟式野球場、少年野球場、ラグビー場の平日利用料金の割引	有料施設の利用料金変更について県の承認は得たが、予約システムの変更が未了なため未実施。	県によるシステム変更が完了次第の実施が望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
○有料駐車場の運営（管理機器の機械化導入） ・営業時間は5時～23時まで、料金は時間制	臨時を含む3箇所の有料駐車場を運営した。
○自動販売機の設置 ・災害支援型、バリアフリー型ベンダーの採用	園内各所に設置した28台の飲み物等の自販機設置を継続した。
○軽飲食・売店の営業 ・カフェとギャラリーを併設し、くつろぎの空間を演出	軽飲食を提供するカフェ等の売店を5箇所経営した。
○オートテニス ・オートテニス2台による営業 ・テニスラケットや靴の貸し出し	計画通り実施した。

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	835,734	818,103	720,260
対前年度比		97.9%	88.0%
目標値	794,200	783,800	783,800
目標達成率	105.2%	104.4%	91.9%

目標値の設定根拠：

提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 天候別(晴、曇、雨)の人数＋有料施設申込者数
 ＋イベント等参加人数の合計で算出

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	県による休日3回、平日3回、イベント1回の計7回調査の結果を使用する。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか。

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 140 / 140 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	81	51	4	4	0	140	いつもきれい トイレが臭い
回答率	57.9%	36.4%	2.9%	2.9%	0.0%		
前年度の回答数	73	46	3	3	0	125	
前年度回答率	58.4%	36.8%	2.4%	2.4%			
回答率の対前年度比	99.1%	99.0%	119.0%	119.0%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	174,138	50,163	76,617	駐車場：73,291 自販機：3,326	300,918	300,918	0	
	決算	174,138	51,364	97,659	駐車場：89,275 自販機：8,384	323,161	308,235	14,926	104.84%
前年度	当初予算	174,138	50,363	75,869	駐車場：72,495 自販機：3,374	300,370	300,370	0	
	決算	174,138	53,284	92,778	駐車場：85,799 自販機：6,979	320,200	315,091	5,109	101.62%
令和元年度	当初予算	177,363	50,828	74,314	駐車場：70,891 自販機：3,423	302,505	302,505	0	
	決算	177,363	49,740	88,780	駐車場：82,068 自販機：6,712	315,883	293,919	21,964	107.47%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応	対面	5 件	駐車場利用時の係員の対応が不親切だった。	相手方に謝罪し、係員に厳重注意の指導をした。
		件		
事業内容		件		
		件		
その他		件		
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
6月2日	①軟式野球場のファウルボールが民家の屋根にあたった。 ②指定管理者からの事故報告により、発生場所を確認。 ③飛球の抑制方法を検討の上、利用団体と木製バット限定使用を調整中。 ④フェンスの高さ不足。 ⑤ボールの規格変更により、従来よりも飛距離が伸びたため。 ⑥無し。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。